詳しい情報は熊本市感染症情報をご覧ください

11月

令和8年(2026年)第46週　2026年11月9日(月)～2026年11月15日(日)

熊本市　感染症発生動向調査　速報

マダニにご注意ください

山や草むらでの野外活動や農作業の際は、マダニに咬まれる危険性があります。マダニがウイルスや細菌などを保有している場合、咬まれた人が病気を発症することがあるため注意が必要です。

主なダニ媒介感染症	潜伏期	主な症状
つつが虫病	5～14日	全身倦怠感、食欲不振、頭痛、悪寒、発熱、発疹
日本紅斑熱	2～8日	頭痛、発熱、倦怠感、発疹
SFTS	6日～2週間程度	発熱、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）時に、腹痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状

マダニに咬まれないためのポイント！



◇ 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど肌の露出を少なくする。
◇ マダニを目視で確認しやすいように、明るい色の服を着る。
◇ 長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下・長靴の中に入れる。
◇ サンダルなどは避け、足を完全に覆う靴を履く。
◇ 虫除け剤を使用する。
◇ 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認する。

マダニに咬まれたときは・・・

◆ 無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの抜去、洗浄など）をしてもらいましょう。
◆ マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

受診時に伝えること

・マダニに咬まれたこと
・野外活動の日付
・場所
・発症前の行動



定点種別	疾患名	状況	45週(11/2～11/8)		46週(11/9～11/15)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症（ARI）	インフルエンザ	－	176	7.65	220	9.57
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		4	0.17	7	0.30
	急性呼吸器感染症(ARI)		1164	50.61	1405	61.09
小児科	RSウイルス感染症		8	0.57	1	0.07
	咽頭結膜熱(プール熱)	－	1	0.07	1	0.07
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	－	14	1.00	27	1.93
	感染性胃腸炎	－	45	3.21	60	4.29
	水痘(みずぼうそう)	－	1	0.07	2	0.14
	手足口病	－	5	0.36	6	0.43
	伝染性紅斑(りんご病)	－	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん		6	0.43	9	0.64
	ヘルパンギーナ	－	20	1.43	18	1.29
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	－	1	0.07	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	－	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	－	5	1.00	12	2.40
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		0	0.00	1	0.20
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。
〇:警報レベル　△:注意報レベル　－:警報・注意報レベルなし